



今年ならではのパフォーマンス 文化発表会

11月20日、コロナ禍の中、半日開催、観客は保護者のみ、合唱なし、劇等は感染予防を工夫した上で・・・などの制限の下、R2文化発表会が開催されました。生徒も、職員も一体となって、今できる最高のパフォーマンスを求めて取り組みました。

まずは、新生音楽部の初舞台から。緊張でドキドキの中、「名探偵コナンのテーマ」「モーニン」の2曲を披露しました。2曲目、会場はジャズの心地よい雰囲気になりました。春こそは公演ができることを祈っています。次は、音楽の授業で合唱の代わりに取り組んだギター演奏。スライドショーをバックに、「アニー・ロニー」（1年）、「喜びの歌」（2年）、「イエスタディ」（3年）を、きれいな音色で奏でました。始めは「メリーさんの羊」を弾くのにアップアップしていましたが、生徒の成長ぶりは目を見張るほどで、これを機会に「ギターを趣味に」という子が現れれば楽しみです。



各学年の発表では、生徒と職員が感染症対策も含め工夫を重ねながら練習してきた成果を存分に発揮しました。まずは1年生。「和歌山発掘プロジェクト」と題して、プロジェクターを使ってふるさと和歌山に関する豆知識を、ランキング形式で紹介したり、漫才（ミルクボーイ風に 写真左）で笑いをとったりして、全員が舞台上でプレゼンを経験しました。2年生は今社会現象にもなっている「鬼滅の刃」をアテレコ



劇（写真右）で演じました。舞台上で演じる役者は声を出さず、声優は舞台下でマスクをして喋ることで感染症対策を行うという工夫です。役者・声優ともに役に成り切って



生き生きと演じ、台詞も分かりやすいと大好評でした。3年生は劇「走れメロス」。基本は原作の通りですが、途中、結婚式のシーンではダンスチームがキレイのダンスを披露したり、今年のヒット曲「香水」をチョコプラ風に演じたりと、色々なアレンジを加えて仕上げました。さすが3年生。爆笑あり感動ありの名演でした。

舞台上上がった人、舞台道具や衣装、音響・照明などの裏方で頑張った人、それぞれのアクティブステージでした。



しんどさの向こうに・・・県・郡駅伝

駅伝シーズン到来です。駅伝部は、それぞれの部活



から集まったメンバーで、1年を通じて毎朝練習に励んでいます。その成果を発揮すべく、県駅伝(11/14 田辺スポーツパーク)郡駅伝(11/23 紀三井寺)に挑みました。さて結果は? 順位はともかく、全員が全力を出し切り健闘しました。

印象に残ったのが、県駅伝の男子1区の口井淳平君の走りでした。前日の壮行会で、木原稚奈キャプテンが「目標は男女共優勝

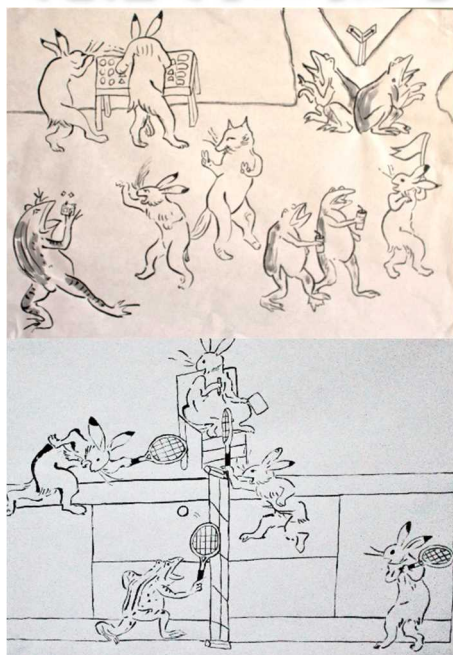
です」と力強く抱負を話したので、私が「目標が優勝なら1区から先頭集団に着いていかなければ。ぜひ勝負してほしい」と激励したのがまずかったのか……。各校のエースが揃う1区。スタートから飛び出した口井君はトップに立ち、はじめの1 kmを超ハイペースで先頭集団に着いていきます。しかし、無理なオーバーペースで残念ながら登り坂で失速し、最後は疲れ果てて襷を渡しました。でも、終了後「自分のペースではなく勝負しにいったのは初めて。殻を破った感じです」と笑顔で話した口井君。経験したことのないしんどさの向こうに、何かをつかんだようです。

郡駅伝ではバレー部やソフトテニス部も加わって男女3チームずつが出場。それぞれがしんどさと走り終えた爽快感を味わったことでしょう。「こんなしんどいこと嫌や」と思いながら走っていても、止まらなければ必ずゴールに着きます。ゴールしたときは走る前よりも何かが成長しているはず。勉強も部活もしんどいことをしなければ上達や成長はありません。「あえてしんどいことをする」ことの大切さを信じてください。3年生はこれで引退。(酒井さんは続けています)3年生、木原キャプテン、お疲れ様でした。よく頑張った! 新駅伝部のキャプテンは小谷緋那さんに引き継がれます。



発想力に拍手! 2年 鳥獣戯画

2年生の美術の授業で描いた「令和



2年版 鳥獣人物戯画」がローカに掲示されています。左上は尾保手香乃さんの「Go To」。ガイド役のウサギにタピオカドリンクを持ってついていく2匹のカエル。写真を撮っているウサギの後ろに写り込むキツネ、分かれ道で迷うカエルなど、ツアーの一幕をユーモラスに描きました。右は碓汐梨さんの「授業風景」。ウサギの先生の授業に、真面目に取り組むカエル、うたた寝をするウサギ、私語をするカエルとウサギなど、リアルに描いています。左下は岡紗希さんの「テニスの試合」ソフトテニス部の岡さんらしく、ダブルスの前衛・後衛の動きがとても躍動的に描かれています。他にもそれぞれに物語があり、個性豊かな発想が生きる作品ばかりで、楽しませてくれます。

